

「信州諏訪
みそ天丼」
諏訪の新名物



諏訪のまちづくり機関が、2003（平成15）年、まちおこしにつながるアイデアを検討。地元の食材を使った新名物をと、全国でも有数のみそ産地ならではの「信州諏訪 みそ天丼」を開発した。
諏訪湖特産の川エビやワカサギなどの天ぷらにみそダレをかけた丼は、市内13店舗で食べることができる。

高島城

1598（慶長3）年に日根野織部正高吉が築城。湖水が城際まで迫り、浮いて見えたことから「諏訪の浮城」とも。明治に入り、本丸跡を公園として一般に開放。現在の天守閣は、1970（昭和45）年に復興された。



諏訪市のイメージキャラクター「かりんちゃん」

信州の酒所

諏訪市の東に広がる「霧ヶ峰高原」。そこから流れ出る清らかな伏流水が、澄んだ空気と厳寒の気候に出会う諏訪市は酒の町。現在も、甲州街道（国道20号）沿い約400メートルの間に5つの造り酒屋が軒を並べている。

8人の一人河西由造も、造り酒屋河西家の次男として1844（弘化2）年に生まれたと伝えられている。

▲霧ヶ峰高原（写真提供：諏訪市）



▲河西家から受け継いだ造り酒屋が今も残る

訪

清右衛門、中澤兼三郎、花岡太吉、瀬松五郎。

初めて厚別の地に移り住んだ。
ともいえる長野県諏訪市を訪ねた。

（表紙写真：温泉郷にふさわしくJR上諏訪駅ホームにある足湯）

▼ 冊子編さんで収集した史料を整理し続編としてまとめる中、8人についてはもっと深く調べようと、同会メンバーは昨年11月諏訪市を訪問。そのことが地元紙で報道されると、多くの情報が寄せられたばかりでなく、「歴史」を切り口に厚別との交流を進めていこうという動きにまで広がりました。追調査で訪れた今年6月には、新たな史実とともに、「まずはお互いの町を知ることから始めよう」という地元の人たちとのつながりも

得ることができました。今年も開催される「あつべつ歴史写真パネル展」には、諏訪市を紹介するコーナーが設けられる予定です。

9月28日（木）の「厚別ふれあい・ほっと・ステーション」で紹介します。

▲ 増澤義治さん
（諏訪市議会議員）



「民間レベルで一歩一歩交流していきたいですね」



▲ 昨年、約四千人が訪れた「あつべつ歴史写真パネル展」

あつべつ歴史写真パネル展

11月18日（金）～11月20日（日）
サンピアザ・光の広場にて

【詳細】あつべつ区民協議会事務局
（地域振興課内） ☎895-2400